



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN WEEKLY BULLETIN

NO. 2636 2024-8-2

創 立 1969. 5. 30  
幹 事 野村 篤

会 長 石濱 宏章  
会報委員長 元氏 成保

RI 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ  
事務所〒542-0012 大阪市  
中央区谷町9丁目1番22号  
NK谷町ビル407号  
TEL (06) 6796-9898  
FAX (06) 6796-9899  
<https://osakajonan-rc.org/>  
E-mail: jonan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場シェラトン都ホテル大阪  
上本町6-1-55  
TEL (06) 6773-1111  
例会日 金曜日 12:30



2024-2025 年度 RI 会長  
ステファニー・A・アーチック

## 本日の例会

8月2日 (第1例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 表彰 ・ホームクラブ連続皆出席  
宮田(90) 梅崎(20) 岡部(倫)(20) 野村(20) 恒元(20) 中尾(10) 田中(10) 各会員
- お祝 ・誕生日 小林(正) 野村 小原 山口 各会員  
・入会記念日 村上 岡倉 梅崎 各会員  
・会社創立記念日 細川 村上 各会員
- 卓話「今年度の会員増強について」 三宅善太郎会員増強委員長担当
- 理事会 11:30~ シェラトン都ホテル大阪 4階 松の間
- 食膳 <日本 うなぎ定食>

## 次週のお知らせ

8月9日 (第2例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「車のはなし」 岡部倫正会員担当
- 食膳 <フランス 魚料理>

## 次々週のお知らせ

8月16日 (第3例会)

休 会

## 先週の記録

7月26日 (第4例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

### 出席報告

出席会員 32名(内免除会員 8名)  
 会員総数 41名(同上 14名)  
 ゲスト 0名  
 ビジター 4名  
 計 36名  
 ホームクラブ出席率 91.42%  
 7月12日(第1例会)補正出席率 100.00% (MU4名)

ゲスト&ビジター(敬称略)  
古川直樹

### 会長の時間

皆様こんにちは、今日は親睦についてお話しします。

ロータリーの親睦の1つの定義を挙げます。ロータリーには「例会場に入りて学び、例会場を出でて奉仕せよ」という言葉があります。世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を

<4つのテスト>言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか



持った職業人が、1週1回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。この例会における一連の活動の事を「親睦」と呼ぶのです。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践します。これが理想とされるロータリーライフです、とあります。親睦だけならば気の合った仲間とゴルフや旅行、カラオケやバーでも図れます。ロータリーはそれだけでは無いと言うことです。(一部ロータリーの定義より引用)

## 幹事報告



- ①地区より大阪西北 RC の例会場変更のお知らせが来ております。詳細は事務局までお問い合わせください。
- ②大阪ユニバーサルシティ RC より3月19日に開催されたウクライナ人道支援チャリティゴルフコンペの収益金全額の送金が完了したとの報告がありましたので濱田パスト会長、山本智重パスト幹事、佐伯国際奉仕委員長に回付しております。
- ③昨日、期首の挨拶で親クラブの大阪東 RC の例会に石濱会長と出席致しました。大阪東 RC の領木会長より「是非、今年度は親子の親睦活動を実現しましょう」とのお言葉を頂いております。

## 委員会報告

### ・青少年奉仕委員会 泉浩一委員長

先々週ポストいたしました、秋の RYLA セミナーの大阪城南 RC での取りまとめ期限が本日までとなっております。

出欠のご返事、よろしくお願い致します。



## 卓 話

本日は、「老・壮・青の親睦について」をテーマにグループディスカッションが行われました。各テーブルのディスカッションの内容は、以下のとおりでした。

### 【A テーブル】

本テーブル議論での総論としまして、例会や公式行事以外での気軽に本音で話がしやすい交流の場を強化すべきという見解です。具体的な方法案として下記出ました。



- 新入会員候補の方が出れば、その方を招いて説明や懇親の為の会食機会をつくる
- 酒味の会の頻度、内容など強化検討
- 同じ趣味、目的を共有できる集まりが老・壮・青の懇親を深めれる有効な場になるので、同好会活動の強化（同好会を増やす、充実化）

#### 【B テーブル】

入会年度か年齢で判断すべきかが難しい。

やはり、酒味の会やゴルフ、野球などで親睦を語りお互いの事を理解し合う場が重要である。

#### 【C テーブル】

- 1) 老・壮・青の分類は、単なる年齢ではなく、クラブ入会からの年数が適当
- 2) クラブ入会からの年数で、3～4グループに分けて、2ヶ月に1回程度親睦の食事会を開催し、年長グループの会員からその経験や知識を学ぶ機会を設ける
- 3) 趣味の会、同好会、旅行等の活動をさらに活性化させる
- 4) 例会の1時間の中に親睦を深める企画を盛り込む、卓話を充実させて、例会の60分をフル活用してさらに親睦をはかる
- 5) 次年度の役員は2ヶ月に1回程度は他のクラブを訪問して、親睦活動や会員増加の対策等に関して情報交換を行うよう努める

#### 【D テーブル】

例会時にディスカッションを行うことは良いが、単なる話し合いで終わることなく、検証できるようにしてほしい。

例会中の交流の時間は短いので、夜の食事会などではベテランは若い人を指導する立場となるべき。

また委員会の中では役割分担があって、ベテランはアドバイザーを、中堅は運営を、入会若い方は実働部隊として活動していくと、老壮青のいい関係が出来ると思う。

#### 【E テーブル】

親睦に関しては、同じ時間を共有し且つ互いの自己研鑽の場となる、酒味の会への参加が一番良いと思います。

先輩から歴史や伝統を学び、逆に先輩からはPCやアプリ等、新しいツールを積極的に取り入れる中で若手会員とのコミュニケーションを図るきっかけになる場合も考えられるのではないかな。

いずれにしても「老・壮・青」の枠のみならず、違う立場や経歴の方と例会に参加する事で会話が出来ること自体に意義があり、その体験を自分の中に取り入れ高めていく意識こそ大切なのではないかとの意見が出ました。

## 【F・G テーブル】

- ・自クラブは入会歴の中間世代が空洞化し、世代を超えた意見交換にはややハードルがあるが、飲食会や例会席などできる限り接点の機会を増やす
- ・先輩の意見を黙って聞く

## 例会風景



ポールハリスフェロー表彰  
第1回 泉会員



グループディスカッション 各班の発表の様子

## ニコニコ箱

7月26日(第4例会)

- ・宮田会員 濱田さん、先日は御馳走になりました。ありがとうございます。
- ・恒元会員 古川さん、ようこそお越し下さいました！

本日のニコニコ合計：2,000円

本年度ニコニコ累計(2024年7月26日現在)：383,000円

(編集担当 遠田・山本(哲))